

東環協ニュース

発行●東京都環境計量協議会

〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11
ヒロエンジニアリング(株)内
TEL (03) 5812-4111
FAX (03) 3833-6674
MAIL toukankyo@car.ocn.ne.jp
URL <http://www.toukankyo.org>

- 首都圏環協連主催 研修見学会報告
- 社内リソースセミナー
- 災害時における石綿モニタリング調査
- 「都民計量のひろば」報告
- 第34回 環境測定技術事例発表会報告
- 受賞のお知らせ
- 2023年度親睦ゴルフ大会
- 関係機関・団体の動き
 - ・首都圏環境計量協議会連絡会
 - ・(一社)神奈川県環境計量協議会
 - ・(一社)埼玉県環境計量協議会
 - ・千葉県環境計量協会
 - ・(一社)日本環境測定分析協会
- 東環協からのお知らせ
 - ・2023年度これからの主要行事予定
 - ・事務局からのお知らせ

首都圏環協連主催 研修見学会

本年度は、千葉県環境計量協会が主催で『研修見学会』が開催され、首都圏環境計量協議会連絡会の(一社)埼玉県環境計量協議会、千葉県環境計量協会、(一社)神奈川県環境計量協議会及び東京都環境計量協議会による合同開催となりました。研修見学会の開催は4年ぶりでした。

見学先は、「千葉県立房総のむら」、「公益財団法人航空科学博物館」、「成田市さくらの山」を下記スケジュールで見学し、最後に屋内研修会で参加者の親睦を深めました。なお、予報では天候が悪いとなっておりますが、大雨にならず無事に開催できました。

開催日：2023年9月22日(金)

参加者：41名(内、東環協会員7社7名)

行程：市川駅北口集合

市川駅北口集合 受付	09：30
千葉県立房総のむら展示物観覧	11：00～12：00
公益財団法人航空科学博物館見学および体験学習	12：30～14：45
昼食および休憩 航空科学博物館内展望レストラン	13：00～13：45
成田市さくらの山見学	15：00～16：00
屋内研修(船橋駅周辺)	17：00～19：00
解散	19：00

JR 市川駅北口集合後、一行はバスで千葉県立房総のむらへ向かいました。そこには、伝統的な生活様式や技術を直接体験するとともに、県内各地から出土した考古遺物や、武家・商家・農家などの展示を通して歴史を学べる博物館があり、各々が敷地内の歴史的な商家の町並み、復元古墳「龍角寺古墳群第101号古墳」や風土記の丘資料館で貴重な出土品を見学しました。



房総のむらを見学する参加者



房総のむら 街並み



房総のむら 昔の建物



房総のむら 建物内

その後、一行は公益財団法人航空科学博物館へ向かいました。到着後、人気の展望レストランでは機内食風ランチで昼食をとり、飛行機に搭乗し旅行に出かけている気分を味わいました。

昼食後は、博物館で飛行機の歴史はもちろん、航空機のすべてがわかる詳しい展示やボーイング747の実物大のエンジンが展示され、その大きさに驚かされました。ボーイング747で使われているタイヤやコックピット、航空機胴体や翼の断面の展示、飛行機が飛ぶ仕組みや操縦の仕方などの解説は好奇心をかき立てられました。



機内食風ランチ



航空科学博物館①



航空科学博物館②



航空科学博物館③



航空科学博物館の集合写真

最後に一行は、成田市さくらの山へ向かいました。成田空港の4,000メートル滑走路北側の小高い丘の上にある公園で、飛行機の離着陸を間近で体感することができました。

また、千葉県産のお土産や変わったところでは航空機の座席等のその土地ならではの物を販売しており、皆さん楽しく見て回っておりました。

最後に船橋駅近くに移動して屋内研修会が行われました。食事を楽しみながら、名刺交換や意見交換が活発に行われておりました。



屋内研修会①



屋内研修会②

首都圏環協連研修見学会 参加者リスト 開催日：2023年9月22日(金)

No.	氏名	会社名(県単別 50音順)	県単名
1		イー・サポート高円寺	東環協
2		株式会社 環境管理センター	東環協
3		株式会社 環境技術研究所	東環協
4		関東化学 株式会社	東環協
5		シグマジオテック 株式会社	東環協
6		ムラタ計測器サービス 株式会社	東環協
7		ヒロエンジニアリング 株式会社	東環協
8		株式会社 神奈川環境研究所	神環協
9		株式会社 総合環境分析	神環協
10		富士産業 株式会社	神環協
11		ムラタ計測器サービス 株式会社	神環協
12		ムラタ計測器サービス 株式会社	神環協
13		アルファー・ラボラトリー 株式会社	埼環協
14		環境計量事務所スズムラ	埼環協
15		株式会社 環境総合研究所	埼環協
16		株式会社 環境総合研究所	埼環協
17		(一社)埼玉県環境検査研究協会	埼環協
18		株式会社 高見沢分析化学研究所	埼環協
19		内藤環境管理 株式会社	埼環協
20		中央開発 株式会社	埼環協
21		ユーロフィン日本環境 株式会社	埼環協
22		株式会社 上総環境調査センター	千環協
23		株式会社 加藤建設	千環協
24		株式会社 加藤建設	千環協
25		株式会社 ケーオーエンジニアリング	千環協
26		株式会社 ケーオーエンジニアリング	千環協
27		有限会社 ケーズオフィス	千環協
28		有限会社 ケーズオフィス	千環協
29		基礎地盤コンサルタンツ 株式会社	千環協
30		株式会社 ユーバック	千環協
31		株式会社 ユーバック	千環協
32		株式会社 ユーバック	千環協
33		株式会社 ユーバック	千環協
34		株式会社 ユーバック	千環協
35		株式会社 ユーバック	千環協
36		株式会社 ユーバック	千環協
37		株式会社 太平洋コンサルタント	千環協
38		株式会社 太平洋コンサルタント	千環協
39		株式会社 日立産機ドライブ・ソリューションズ	千環協
40		日鉄環境 株式会社	千環協
41		(一社)日本環境測定分析協会	日環協

社内リソース活用セミナー&懇親 BBQ

10月17日(火)に会員企業の皆様の日常業務改善の一助となるような情報として、社内に眠る重要なリソースである「名刺」についてのセミナーを開催しました。

開催日時：2023年10月17日(火) 15:00～17:00

開催場所：両国ステーションロハスビル 3階 会議室

参加者：23名

プログラム：

15:00～15:10 開会挨拶

15:10～15:40 「名刺管理を始めるきっかけとその後について」

東京都環境計量協議会 副会長

(一財)東海技術センター 東京営業所 木村 直樹

15:40～16:10 「名刺管理から、収益を最大化する」

Sansan(株) Sansan 事業部 SMB 営業部 井上 俊氏

16:10～16:20 休憩

16:20～16:50 フリーディスカッション

16:50～17:00 閉会挨拶

17:45～20:00 懇親会

東環協 平賀会長の開会挨拶

東京都環境計量協議会の平賀でございます。

本日は、新しい試みとして環境計量における分析及び採取業務から離れた部分をテーマとして、この様なセミナーを開催してみました。当業界においても働き方を変えていくための強力なツールとなり、皆様が新しいツールを活用し効率性を上げることにより新しい時間を生み出すヒントとなればと思っております。

また、本セミナーでは情報及び人を繋ぎ発展させることを主とした説明がなされると思いますが、私たちの東環協正会員及び賛助会員の中にも特徴のある強みを持った会員が多数存在すると思えます。是非ともお互いの強みをもって東環協会員同士が繋がり新しい商品が生み出されることを期待しています。しかし、残念ながら東環協会員同士の強みの共有ができていない現実もあります。そのためにも会員同士の強みを知る機会を今後、設けて行かなくてはならないと感じています。その方法としてどのような方法が良いかを含め皆様の協力とアイデアに期待しております。

本日はもう一つの試みとしてセミナー終了後に新しい懇親会の手法としてバーベキューを企画しました。10月ですが天候に恵まれ暑いぐらいの陽気となりました。

楽しい懇親会の前のセミナーにおいて、活発なディスカッションを期待しております。

本日はどうぞ宜しくお願いします。

【研修内容】

はじめに「名刺管理を始めるきっかけとその後について」というテーマで東環協の木村副会長による講演がありました。その後、Sansan 株式会社の井上様より、「名刺管理から、収益を最大化する」と題して同社が提供している名刺管理システムについての講演を行っていただきました。

様々な場面で名刺交換を行います。いただいた名刺が社内的に活用されていない状況が多々あると思われます。同社の名刺管理アプリを活用することで、新規顧客や休眠顧客へのアプローチをかけるきっかけづくりになり、顧客とのコンタクトの記録として活用する事ができるもので、営業戦略における DX 化の一環として活用できる可能性を感じることができました。

講演のあとは、フリーディスカッションが行われ、活発なディスカッションが行われました。

セミナー後に、参加者の皆様とともに両国駅に隣接するバーベキュー会場でバーベキューを楽しみながら意見交換をおこない親交を深めることができました。



研修風景



懇親会風景

災害時における石綿モニタリング調査

東京都環境計量協議会は、2020年9月10日付で東京都との間で「災害時における石綿モニタリング調査に関する協定」を締結しています。

今回は、10月31日(火)に東京都環境局の主催により「令和5年度 災害時アスベストばく露・飛散防止研修」が開催されましたので報告いたします。最初に本協定についての解説を東京都環境局より講義いただきました。続いて(一社)建築物石綿含有建材調査者協会の外山氏より「アスベストの露出状況調査について」の講義、東環協を代表して石綿モニタリングネットワーク機関の(株)環境管理センター岩澤氏より「環境モニタリングについて」の講義が行われました。さらに会場では「アスベストの露出状況調査の方法」および「環境モニタリングの方法」について実務研修が行われました。

座学終了後に、会場参加された東京都の自治体関係者の方々に対して、実際にアスベスト分析で使用するサンプリング機器や顕微鏡などを使ったデモンストレーションを行い、石綿モニタリング調査に関する知識・理解を深めていただきました。

東京都内、都下の自治体からの参加者は、会場参加の方が22名、オンライン参加の方が16名でした。

令和5年度 災害時アスベストばく露・飛散防止研修会

開催日時 : 2023年10月31日(火)10:00~15:40
開催場所 : 都庁第一本庁舎5階 大会議場
開催方法 : 会場参加及びオンライン(Zoom ウェビナー)の併用

プログラム :

- 1 開会
- 2 講義

・座学(現地及びオンライン)

(1)災害時における飛散防止マニュアル及び災害時のアスベスト対策に係る協定について
10:00~10:30

講師 : 東京都環境局

(2)アスベストの露出状況調査について
10:35~11:20

講師 : (一社)建築物石綿含有建材調査者協会 副代表理事 外山 尚紀氏

(3)環境モニタリングについて
11:30~12:15

講師 : 東京都環境計量協議会 会員企業

株式会社環境管理センター ソリューション事業部環境政策部政策企画グループ
プロジェクトリーダー 岩澤 寿男氏

- ・実務(現地)※2班に分かれて実施 ①13:30～14:30 ②14:40～15:40

(4-1)アスベストの露出状況調査の方法

講師：(一社)建築物石綿含有建材調査者協会 副代表理事 外山 尚紀氏

(4-2)環境モニタリングの方法

講師：東京都環境計量協議会 会員企業

株式会社環境管理センター ソリューション事業部環境政策部政策企画グループ

プロジェクトリーダー 岩澤 寿男氏

株式会社環境管理センター 技術センターアスベスト対策グループ

グループサブリーダー 小正 崇徳氏

3 閉会



講義風景

「都民計量のひろば」報告

東京都では、11月1日の計量記念日に都民の方々に楽しみながら計量への関心を高めていただくために、「都民計量のひろば」を開催してきました。これまで過去3年間、コロナ禍の影響によりWeb開催でしたが、今年度は久しぶりに恒例の新宿駅西口広場での開催となり、多くの方にご来場いただきました。

テーマ：メインテーマ「くらしと計量」
 サブテーマ：「計量の世界を楽しく探検しよう！」
 日程：2023年11月1日(水)10:30~16:00
 場所：新宿駅西口広場イベントコーナー

主催：都民計量のひろば実行委員会〔構成団体 東京都計量検定所、(一社)東京都計量協議会、東京都環境計量協議会、他計18団体〕



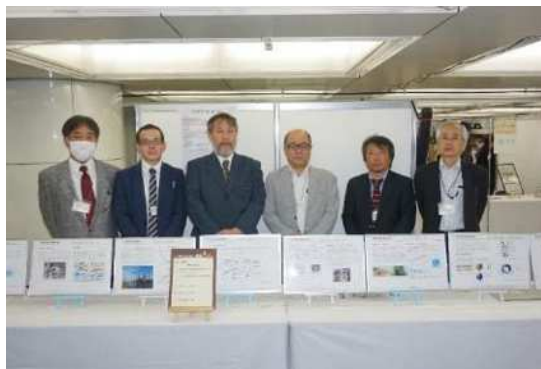
今年度の都民計量のひろばは、常設コーナーとして「健康と計量」、「水道と計量」、「電気と計量」、「ガスと計量」、「環境と計量」、「食品と計量」、「計量体験 1(計量器の展示とゲーム)」、「計量体験 2(棒はかりと寒暖計の工作)」の 8 コーナーが設けられ、そのうちの「環境と計量」コーナーの 1 ブースに当協議会が出展させていただきました。また、常設コーナーとは別にステージ・アトラクションとして箏(こと)やマリンバの演奏、計量マジックが催されました。当ブースにおいては、四大公害病、騒音の目安、地球温暖化、PM2.5、隅田川の水質改善、マイクプラスチックの紹介をパネル展示しました。

この日は朝から穏やかな一日で、来場者の出足も好調でした。また、クイズラリーに参加していただいた来場者には、各ブースを回って出展内容をもとに作成したクイズに回答してもらいました。その際、当協議会のパネルも興味深くご覧いただきました。

どのブースも平日開催にもかかわらず多くの来場者で賑わいをみせ、盛況のうちに幕を閉じました。



展示風景



スタッフ一同

第34回 環境測定技術事例発表会報告

昨年度から引き続き、参加者全員が会場に集まり、対面形式で開催することができました。発表会当日は好天にも恵まれ、会員26社50名、協賛企業7社10名、発表者6名に来賓を含め総勢72名の皆様に出席していただきました。来賓には(一社)日本環境測定分析協会、大阪環境測定分析事業者協会から6名にご臨席いただきました。

東環協 平賀会長の挨拶

皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中、日本環境測定分析協会様、大阪環境測定分析事業者協会様ならびに正会員・賛助会員の皆様にこのように盛大にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。



目指すべき東京都環境計量協議会の技術事例について私はこの様に考えております。東京都と東京都環境計量協議会との間で締結しています災害時アスベストばく露飛散防止協定における研修会は私の目指すべき技術事例の一例と捉えています。東京都、建築物石綿建材調査者協会、東京都環境計量協議会がそれぞれの強みを活かし協力しながら、災害発生時及び平時における準備、問題

点の抽出・共有、現物を用い採取及び分析機材に直接触れる等の実際の災害現場及び現場事例を基に講習会を実施しております。この様に環境計量業界だけでなく他の業界及び自治体とスクラムを組んで社会を変えるべく施策を進める重要な技術事例と言えると考えております。環境計量業界の基盤となる技術は精度を求めた現場測定及び分析技術となりますが、広い視野を持って社会を変えるという観点において、その先にある技術に着目し進んで行くべきと考えています。社会の変化に対応すべき業務の効率化、各種計画施策の推進、当環境計量業界から社会を変えるという一歩先の技術を皆様と共に創造していきたいと思っております。災害協定の例にありましたが、一歩先の技術と言う観点で一つの技術ではなく先ずは賛助会員皆様と環境計量業界会員皆様の強みと強みを活かし新しい技術及びアイデアが生まれるヒントとなる技術発表会にすることが私の目標でもあります。

また、このような貴重な財産である環境測定事例発表会を積極的に外部へ発信して行き、環境計量業界認知度向上及び当協議会の方向性を外部業界及び自治体へどの様な有効的な手段で発信出来るかを考えて行く必要があると考えています。外部発信の一歩として今回の第34回環境測定技術事例発表会要旨集は増刷をし、東京都環境局をはじめ関係機関にお渡しして行きたいと考えています。外部への発信手法として皆様の中に良いアイデアがあれば東環協事務局へどんどん発信願います。本日の環境測定技術事例発表及び出展企業による技術説明がありますが、自社の強みが活かさないか？他の業界に活かさないか？この技術の先にある社会を創造するという視点を持って本日の環境測定技術事例発表を聞いて頂ければと思います。

皆様、本日は宜しく申し上げます。



座長席の様子



展示ブース見学



発表の様子



質疑応答の様子

事例発表・第1部 事例発表①～③

以下、発表申込書に記載の要旨を引用させていただきました。

① 「自動同定・定量システム(AIQS)による水質試料中のVOCの分析法検討」

株式会社環境管理センター 上条 憂紀



自動同定・定量システム(AIQS)は、データベースに登録された検量線等を用いて化学物質の濃度を測定する方法であり、標準物質を準備することなく多種の化学物質の定量を可能とする。

本研究では、ヘッドスペース-GC/MS(HS-GC/MS)を分析装置に、水試料中のVOCを分析対象とするAIQSを検討した結果を発表した。

② 「還元蒸留-インドフェノール青吸光光度法による硝酸態窒素分析における妨害物質の影響とその対応事例について」

一般財団法人東海技術センター 荻原 圭祐



還元蒸留-インドフェノール青吸光光度法は硝酸態窒素の分析方法の一つである。これは他の方法と比較して、有機物の多い試料に適用できるとともに、蒸留分離後に定量するため共存物質の妨害も少ない。しかし、蒸留中に徐々に加水分解してアンモニアを生じるような有機物が共存すると、還元蒸留においてもアンモニアを生成し、正の誤差を与える事が知られている。今回、このような妨害物質を含有する検体の

実例及びその対応を発表した。

③ 「圧縮空気品質検査の紹介(2004年～現在の検査手法の紹介)」

株式会社分析センター 渡邊 昇太



圧縮空気品質サービスでは2015年にISO法(JIS法)による品質検査サービスが主流となっており、環境測定事例として、過去から実施してきた圧縮空気品質検査の事例を発表した。

協賛企業によるプレゼンテーション その1

事例発表第一部の最後は、協賛企業3社によるプレゼンテーションがありました。ヴェオリア・ジェネッツ株式会社からは有機フッ素化合物分析に最適な高感度分析用超純水装置について、ジーエルサイエンス株式会社からはディスク型固相カラムと PFAS 分析用 Delay カラムについて、輝達商事株式会社からは中古分析機器の買い取りと販売についてそれぞれ紹介いただきました。



ヴェオリア・ジェネッツ株式会社様



ジーエルサイエンス株式会社様



輝達商事株式会社様

ブース見学/休憩



ヴェオリア・ジェネッツ株式会社様



ジーエルサイエンス株式会社様



輝達商事株式会社様



日本コントロールシステム株式会社様



東ソー株式会社様



ビーエルテック株式会社様



ラボテック株式会社様

協賛企業によるプレゼンテーション その2

休憩時間を利用した展示ブース見学のアとは、引き続き協賛企業4社によるプレゼンテーションがありました。日本コントロールシステム株式会社からは現場写真自動リンク管理システム「pictum」について、東ソー株式会社からはイオンクロマトグラフ IC-8100 シリーズと燃焼イオンクロマトグラフィーによるPFAS分析について、ビーエルテック株式会社からはオートアナライザー「MiSSion」について、ラボテック株式会社からは全自動BOD測定システムについてそれぞれ紹介していただきました。



日本コントロールシステム株式会社様



東ソー株式会社様



ビーエルテック株式会社様



ラボテック株式会社様

事例発表・第2部 事例発表④～⑥

以下、発表申込書に記載の要旨を引用させていただきました。

④ 「音源音の到来方向の可視化装置を使った異音調査」



ダイネツ環境リサーチ株式会社 上原 貴浩
音の到来方向の可視化装置を使用することにより、特定の音の発生源を視覚化することができる。今回、音の到来方向の可視化装置を使って、異音の発生状況の可視化や、遠隔による無人自動化などの異音調査へのアプローチが可能となってきた。今回、その測定事例について発表した。

⑤ 「上層気象調査におけるドローンの活用検討」



ムラタ計測器サービス株式会社 坂間 将純
環境アセスメントにおける上層気象観測の調査手法として、GPS ゾンデが多く使用されている。GPS ゾンデにより高高度の気象状況が連続観測できるが気球やGPS ゾンデは使い捨てとなり費用や環境負荷が高いこと等がデメリットとして挙げられる。様々な分野で急速に活用が進んでいるドローンに気象観測器を搭載しGPS ゾンデと同時観測を実施し、気温、湿度、風向、風速の測定結果の比較を行った結果を発表した。

⑥ 「水中の揮発性 PFAS(フルオロテロマーアルコール類)の分析法開発」



ユーロフィン日本環境株式会社 藤田 潤
フルオロテロマーアルコール類(FTOH)は合成原料として利用されており、ポリマー製品からの残留物として環境中に放出されます。FTOH は環境中に放出されると分解過程で有害なPFOA 等を生成することが懸念されていますが、中性物質であるため、液体クロマトグラフィー(LC-MS/MS)による分析は難しくなっております。

FTOH の前処理及び測定について分析法の発表を行った。

懇親会

事例発表会のあとは、アルカディア市ヶ谷6階「伊吹」にて恒例の懇親会が、東環協 村野理事の司会進行により17:30にスタートしました。東環協の平賀会長から主催者挨拶があり、(一社)日本環境測定分析協会の小野寺会長より来賓挨拶をいただきました。

大阪環境測定分析事業者協会の杉野会長による乾杯のご発声をいただき事例発表会後の懇親会が開催されました。



東環協 平賀会長による主催者挨拶



日環協 小野寺会長による来賓挨拶



大環協 杉野会長による乾杯

発表会の緊張感から開放され、和やかな雰囲気の中、名刺交換や発表者・展示協賛企業への質問などが活発になされ、参加者間の交流が行われていました。通常の業務では同業他社の技術者と交流する機会がなかなかないこともあり、参加者間の交流は大変有意義なものであったようです。

会場の皆さんのお腹も満たされ、お酒の酔いも程よく回ってきたところで、本日の発表者への記念品の贈呈が行われました。司会者からの指名で一人ひとり壇上に上がっていただき、五十嵐副会長から記念品が渡され、会場から盛大な拍手が送られました。

さらに、展示協賛企業の皆様にも壇上に上がっていただき、本日の事例発表会の感想や、製品紹介をご披露いただきました。



記念品の贈呈



発表者の皆様



展示協賛企業の皆様



会場風景

また、佐藤前東環協会長より「計量関係功労者経済産業大臣表彰」の受賞ご報告をいただきました。

盛大に盛り上がった懇親会ですが、楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後は東環協 笹嶋理事による、参加者全員の思いのこもった三本締めで懇親会がお開きとなりました。発表者の皆様におかれましては、素晴らしい事例発表をありがとうございました。来年度の事例発表会も多く方々にご参加いただけることを祈念いたします。



佐藤前会長から表彰のご報告



東環協 笹嶋理事による中締め

【アンケート集計結果】

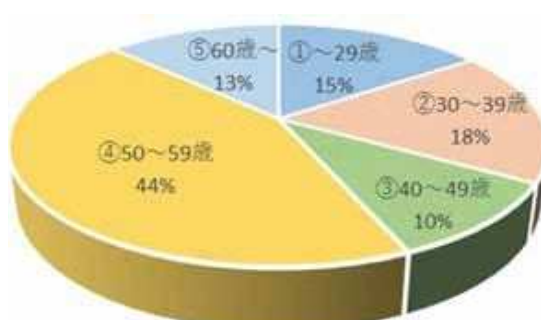
参加者の皆様に事例発表会後のアンケートにご協力いただきました。「事例発表の中で興味を持った、参考になった発表はありますか？」の回答では6題の発表それぞれが14～22%となり、拮抗した結果となりました。

最も興味をもった発表についての感想を自由形式で回答いただいたので、その一部をご紹介します。他にも貴重なご意見・ご感想を寄せていただきましたので、このアンケートの結果は今後の事例発表会運営の参考にいたします。

参加区分

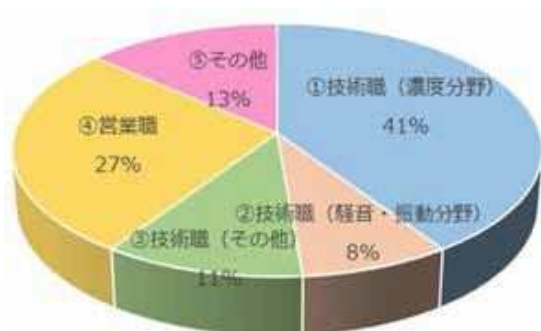


年齢層



興味を持った、または参考になった発表は？

職種【正会員限定】



【複数回答可】



標準を分析せずに定量出来る事は、時間と費用の効率化となるので、スクリーニングだけではなく精度を上げて行って欲しいです。(事例発表①)
妨害物質について考えることの重要性、分析者としての着目点の大切さを考えるきっかけになりました。(事例発表②)
ビジネスへの応用で参考となる。(事例発表③)
見えない音を可視化出来るのは分かり易いと思いました。(事例発表④)
ドローン等を使った最先端技術を見る事が出来た。(事例発表⑤)
FTOHの分析法について、固相抽出・液-液抽出の比較等、参考になりました。(事例発表⑥)

東京都環境計量協議会 第34回 環境測定技術事例発表会プログラム

2023年11月15日(水) アルカディア市ヶ谷(受付開始 12:20～)

【事例発表会】12:50～ 5階 大雪

【懇親会】17:30～ 6階 伊吹(19:30閉会予定)

I. 開会 12:50～13:10

総合司会：木村 直樹 [東環協 副会長、(一財)東海技術センター]

主催者挨拶	東京都環境計量協議会	会 長	平賀 積善
来賓紹介	一般社団法人日本環境測定分析協会	会 長	小野寺 明 氏
	〃	副会長	小林 琢哉 氏
	〃	参 事	小林 秀司 氏
	大阪環境測定分析事業者協会	会 長	杉野 伸義 氏
	〃	副会長	藤原 幹大 氏
	〃	技術委員	中原 忠 氏

II. 事例発表

事例発表・第1部

座 長：小柳 伸彦 [東環協 監事、(株)環境技術研究所]

13:10～13:30 事例発表 ①

「自動同定・定量システム(AIQS)による水試料中のVOCの分析法検討」

株式会社環境管理センター ○上條 憂紀、川中 洋平、石井 善昭

13:30～13:50 事例発表 ②

「還元蒸留-インドフェノール青吸光光度法による硝酸態窒素分析における妨害物質の影響とその対応事例について」

一般財団法人東海技術センター 荻原 圭祐

13:50～14:10 事例発表 ③

「圧縮空気品質検査の紹介(2004年～現在の検査手法の紹介)」

株式会社分析センター 渡邊 昇太

14:10～14:30 ≪ 展示協賛企業によるプレゼンテーション その1 ≫

1. ヴェオリア・ジェネッツ株式会社
2. ジーエルサイエンス株式会社
3. 輝達商事株式会社

14:30～15:30 展示ブース見学／休憩

15:30～15:50 ≪ 展示協賛企業によるプレゼンテーション その2 ≫

4. 日本コントロールシステム株式会社
5. 東ソー株式会社
6. ビーエルテック株式会社
7. ラボテック株式会社

事例発表・第2部

座 長：近野 良哉 [東環協 監事、いであ(株)]

15:50～16:10 事例発表 ④ <大環協・交流発表>

「音源音の到来方向の可視化装置を使った異音調査」

ダイネツ環境リサーチ株式会社 上原 貴浩

16:10～16:30 事例発表 ⑤

「上層気象調査におけるドローンの活用検討」

ムラタ計測器サービス株式会社 ○坂間 将純、福池 晃、池上
匡、永島 右光

16:30～16:50 事例発表 ⑥

「水中の揮発性PFAS(フルオロテロマーアルコール類)の分析法開発」

ユーロフィン日本環境株式会社 藤田 潤

Ⅲ. 閉会 16:50～17:00

閉会挨拶：五十嵐 鋼 [東環協 副会長 (株)東京環境測定センター]

事務連絡

17:00～17:30 ≪ 移動／休憩 ≫

Ⅳ. 懇親会 17:30～19:30

司 会：村野 光男 [東環協 理事、環境リサーチ(株)]

主催者挨拶	東京都環境計量協議会	会 長	平賀 積善	
来賓挨拶	一般社団法人日本環境測定分析協会	会 長	小野寺 明	氏
乾杯	大阪環境測定分析事業者協会	会 長	杉野 伸義	氏
発表者への記念品贈呈	東京都環境計量協議会	副会長	五十嵐 鋼	
新人会員紹介	各社			
協賛企業紹介	協賛企業各社			
中締め	東京都環境計量協議会	理 事	笹嶋 宏	

2023 年度

第 3 4 回環境測定技術事例発表会 参加者名簿

2023年11月15日(水) 於 アルカディア市ヶ谷

来賓

(一社)日本環境測定分析協会	会	長	小野寺 明	氏
〃	副	会 長	小林 琢也	氏
〃	参	事	小林 秀司	氏
大阪環境測定分析事業者協会	会	長	杉野 伸義	氏
〃	副	会 長	藤原 幹大	氏
〃	技 術 委 員	長	中原 忠	氏

発表者(発表順)

No	会 社 名	氏 名	備 考
1	(株)環境管理センター	上條 憂紀	
2	(一財)東海技術センター	荻原 圭祐	
3	(株)分析センター	渡邊 昇太	
4	ダイネツ環境リサーチ(株)	上原 貴浩	大環協・交流発表
5	ムラタ計測器サービス(株)	坂間 将純	
6	ユーロフィン日本環境(株)	藤田 潤	

6社 6名

会員参加者

No.	会 社 名	氏 名	備 考
1	いであ(株)		
3	(株)エオネックス		
4	(株)オオスミ		
7	(株)環境管理センター		
10	(株)環境技術研究所		
11	(株)環境技術センター		
12	(株)環境総合リサーチ		
13	環境リサーチ(株)		
14	シグマジオテック(株)		
16	新日本環境調査(株)		
19	(株)総合環境分析		
20	ダイヤアクアソリューションズ(株)		
22	帝人エコ・サイエンス(株)		
23	(一財)東海技術センター		
26	(株)東京環境測定センター		
28	(株)日本シーシーエル		
29	日本物理探鑛(株)		
30	(株)日本分析		
33	ヒロエンジニアリング(株)		
36	(株)分析センター		
37	ムラタ計測器サービス(株)		
42	ユーロフィン日本環境(株)		
43	イー・サポート高円寺		賛助
45	ヴェオリア・ジェネッツ(株)		賛助
49	(一財)広島県環境保健協会		
50	(一社)日本環境測定分析協会		

26社 50名

協賛企業

1	ヴェオリア・ジェネッツ(株)		
2	ジーエルサイエンス(株)		
3	輝達商事(株)		
4	日本コントロールシステム(株)		
5	東ソー(株)		
6	ビーエルテック(株)		
7	ラボテック(株)		

7社 10名

受賞のお知らせ

令和5年10月2日に東京都功労者表彰において産業振興功労として、いであ株式会社代表取締役会長 田畑日出男様が受賞されました。

さらに、令和5年11月1日の計量記念日式典において経済産業省より計量関係功労者経済産業大臣表彰として東環協前会長である株式会社分析センター 代表取締役社長 佐藤 隆様が受賞されました。

心よりお祝い申し上げます。

2023年度親睦ゴルフ大会(通算第40回)

恒例となっています、首都圏環協連の合同親睦ゴルフ大会を10月27日(金)に千葉県市原市にある、千葉新日本ゴルフ倶楽部におきまして開催いたしました。

コロナ禍により、2019年以来4年ぶりの開催となりましたが、21名(東環協5名、神環協12名、千環協4名)のご参加を頂き、晴天に恵まれ、絶好のゴルフ日和となりました。

表彰式を兼ねた親睦会では、各県単との交流や賛助会員の方と情報交換が行われ、大変有意義な時間が持てたと思います。優勝者のスピーチを以て散会となりました。

ご参加いただいた方々大変お疲れ様でした。

次回は、来年10月頃に開催予定となります。多数の皆さんの参加をお待ちしております。

関係機関・団体の動き

2023年12月現在で、既に実施または今後予定されている関係機関及び団体の動きは、以下のとおりです。

- 首都圏環境計量協議会連絡会
 - ・ 第3回首都圏環境計量協議会連絡会 12月12日 検査協会・土呂支所
 - ・ 合同研修会 2月13日 TKP 東京駅
カンファレンスセンター
- (一社)神奈川県環境計量協議会
 - ・ 親睦地引綱大会 10月14日 鵜沼海岸
 - ・ 第5回理事会 1月24日 Web 会議
 - ・ 事例発表会 2月27日 横浜市金沢産業振興センター
 - ・ 第6回理事会 3月27日 Web 会議
- (一社)埼玉県環境計量協議会
 - ・ 県民計量のひろば 11月1日 JR 大宮駅西口
DOM ショッピングセンター
 - ・ 新春講演会・研究発表会 1月26日 オンライン併用予定
 - ・ 第6回理事会 3月8日 検査協会・土呂支所
- 千葉県環境計量協会
 - ・ 技術事例発表会 11月25日 千葉市民会館と Zoom
 - ・ 務者技術フォーラム 11月25日 千葉市民会館と Zoom
 - ・ 第288回理事会 1月26日 ホテル菜の花
 - ・ 新春講演会 1月26日 ホテル菜の花
 - ・ 第289回理事会 3月 未定
- (一社)日本環境測定分析協会
 - ・ 環境セミナー全国大会 in ふじのくに 10月19・20日 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
 - ・ 経営者セミナー全国大会 in 徳島 11月10日 JR ホテルクレメント徳島
 - ・ 新春賀詞交歓会 1月11日 霞山会館

東環協からのお知らせ

○ 2023 年度これからの主要行事予定

・技術研修会・新春賀詞交歓会

2024 年 1 月 24 日実施予定

○ 事務局からのお知らせ

・現在の会員数(2023 年 11 月末現在)

正 会 員 58社

賛助会員 19社 合 計 77社

○ 編集後記

「東環協ニュース」第 183 号が無事に完成しましたので皆様にお届けいたします。今回のニュースは、コロナ禍を脱した社会情勢を反映し、対面でのイベントが多数開催されました。9 月 22 日に開催された首都圏環協連主催の研修見学会は 4 年ぶりに実施され、その後、親睦ゴルフ大会、石綿モニタリング調査、都民計量のひろば、環境測定技術事例発表会などの主要イベントを中心に編集しました。2024 年 1 月には当協議会の主要な行事となります「技術研修会・新春賀詞交歓会」を盛大に開催する予定ですので、奮ってご参加ください。

今後も会員の皆様に興味を持って頂ける企画・運営を心掛けて参りますのでご支援の程、宜しく願い申し上げます。

PFAS分析に最適な超純水が 装置から直接採水できます

- 今お使いの超純水装置では PFOS や PFOA が
検出されてしまってブランク水に出来ない
- PFOS/PFOAフリー超純水を購入して
使うのはコストがかかるし、面倒だ

…こんなことでお困りの分析者の方へ

エルガ・ラボウォーターの
PURELAB Chorus 1
Analytical Research なら
そのまま使えます



超純水中のPFOS、PFOA、PFHxSの分析例

PURELAB Chorus 1 水

PFOS	< DL (0.02 ng/L)
PFOA	< DL (0.02 ng/L)
PFHxS	< DL (0.02 ng/L)

試験方法：

PFOS、PFOA：令和2年環水大発第2005281号 / 環水大土発第2005282号
付表1 固相抽出 LC-MS/MS 法

PFHxS：令和2年環水大発第2005281号付表1 準用

エルガ超純水装置は採水口フィルターからの
コンタミの心配がありません



より詳細な情報をご希望の方は下記までお問い合わせください

ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 エルガ・ラボウォーター事業部

お問い合わせ 〒108-0022 東京都港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー

e-mail : jp.elga.all.groups@veolia.com <http://www.elgalabwater.com>

LC/MS用溶媒

New

PFOS・PFOAの保証を追加!!

- ／ 金属不純物(13種)を保証*
- ／ 日本薬局方の試薬規格に適合
- ／ 従来の保証内容を踏襲
UHPLCシステムに最適



品目	容量	日本薬局方適合	金属(13種)保証	PFOS・PFOA試験適合性
アセトニトリル	200mL、1L、3L	○	○	○
蒸留水	200mL、1L、3L		○	○
メタノール	200mL、1L、3L	○	○	○
2-プロパノール	200mL、1L、3L	○		

*金属(13種) : Ba, Ca, Cd, Co, Cr, Cu, Fe, K, Mg, Mn, Ni, Pb, Zn

LC/MS 関東

検索



関連商品

認証標準物質 (CRM)

製品番号	メーカーコード	製品名	容量
49922-34	PFAS-3PAR	有機ふっ素化合物混合標準液(3種) (L-PFOS, PFOA, L-PFHxS each 2ug/mL)	1.2mL
49922-35	MPFAS-3ES	有機ふっ素化合物混合内部標準液(3種) (M8PFOS, M8PFOA, M3PFHxS each 2ug/mL)	1.2mL

高圧ガス工業の標準ガス

高圧ガス工業は環境測定のお手伝いに徹し貢献していきます
標準ガスは、様々な用途で使用されています。大気測定から煙筒、排気ガス、医療現場と幅広いユーザー様に支持を受けています

Standard Gas

◆ラインナップ

- ・ JCSS標準ガス 1級、2級、零位
- ・ 一般標準ガス
- ・ 医療機器校正用標準ガス

◆容器 / 充填圧力

- ・ 容器種類：3.4L 10L 47L マンガン容器
- ・ 口 金：W22×14山 右・左
- ・ 充填圧力：14.7 MPa max
- ・ 脱着キャップ、ハンドルバルブ



High Purity Gas

◆ラインナップ

- ・ 高純度アルゴン UP1 99.9999 % UP3 99.999 %
- ・ 高純度窒素 UP1 99.99995 % UP3 99.9995 %
- ・ 高純度水素 UP1 99.99999 % UP2 99.9999 %

◆容器 / 充填圧力

- ・ 容器種類：3.4L 10L 47L マンガン容器
- ・ 口 金：W22×14山 右・左
- ・ 充填圧力：14.7 MPa max
- ・ 脱着キャップ、ハンドルバルブ

Pressure Regulator

◆特長

・理化学機器に特化した、高品位の圧力調整器で、ガスを安定した圧力と流量で供給できるよう設計されています

◆スペック

- ・HP-1：1段減圧 供給圧 0-0.9 MPa
- ・HP-2：2段減圧 供給圧 0-0.9 MPa
- ・Bs/ステンレス製



高圧ガス工業株式会社

ガス開発部 特殊ガス課

<http://www.koatsugas.co.jp>

東京事務所 東京都千代田区内幸町1丁目2番1号 日土地内幸町ビル9階 TEL 03-3595-3122
滋賀高圧ガス流通センター 滋賀県東近江市五個荘川並368番地 TEL 0748-48-5933



お客様各位

平素はエルメックス商品をご愛顧賜り誠にありがとうございます。

ELMEX Post は、微生物検査ご担当者様宛に、弊社商品の発売や仕様変更、セミナー・学会・展示会、その他関連する情報を提供する目的で発信しています。本紙が適切でない部署に配信されている場合は、適切な部署へ転送下さいます様よろしくお願い申し上げます。

◆◆◆ 水質汚濁に係る環境基準が変更されます ◆◆◆

大腸菌群検査から特定酵素基質寒天培地による大腸菌検査へ

環境基本法第16条第1項「水質汚濁に係る環境基準について」の一部改正

令和3年3月の「水質汚濁に係る生活環境の保全に関する環境基準の見直しについて(第2次報告案)」を受け、生活環境項目環境基準において、よりふん便汚染の指標性が高い大腸菌数を新たな衛生微生物指標とし、大腸菌数の測定には特定酵素基質寒天培地による検査法が適当とされました。特定酵素基質 5-プロモ-4-クロロ-3-インドリル-β-D-グルクロニド(X-GLUC)を含む、当社のアガートリコロールが大腸菌数検査に使用できます。

〈検査方法〉

- ①滅菌した密閉できる容器に採水
- ②メンブランフィルターで検水を吸引ろ過
- ③ろ過したメンブランフィルターをアガートリコロール培地に密着させ、倒置し培養
- ④培養後青色のコロニーを数える

〈大腸菌数の環境基準〉(予定)

水道1級	100CFU/100mL
水道2級	300CFU/100mL
水道3級	1000CFU/100mL
水浴(プール等)	300CFU/100mL
自然環境保全 人為的なふん便汚染が極めて少ないと考えられる地点 および自然公園等に指定されている海域の河川・湖沼	20CFU/100mL

環境省から上記命令等の適用は、令和4年4月1日の予定です。

Pro-media *アガートリコロール*

アガートリコロール

大腸菌群・E.coli 同時検査用

ラウリル硫酸 Magenta-GAL・X-GLUC 寒天培地

透明な培地の上に E.coli は青く、大腸菌群は赤く発色。判定が簡単にできます。



〈使用方法〉

1袋(7.85g)を200mLの精製水、または39.3gを1000mLの精製水に加え、加温溶解するか、オートクレーブ滅菌を行う。

(加温溶解した培地は当日中にご使用ください)

品名	Pro-media アガートリコロール(顆粒)	
コードNo.	XMA-01N	XMA-400
入数	7.85g/袋×40	400g/ボトル
価格(税別送料込)	¥17,000	¥21,300

----- カタログ・サンプル 要求書 ----- Fax: 03-3831-9829 -----

送付先をご記入ください		お気軽にお問合せください アガートリコロール <input type="checkbox"/> カタログ希望 <input type="checkbox"/> サンプル希望
御社名	e-mail	
〒 ご住所	都道府県	
ご担当者名	TEL	
ユーザー様名	エルメックス商品仕入れ先(業者名) 東京科研	

高速イオンクロマトグラフ

IC-8100



ION CHROMATOGRAPH

IC-8100

先進のセパレーションテクノロジーを継承、
さらに進化したニューコンセプトIC…
ますますの快適さと信頼性をお届けします。

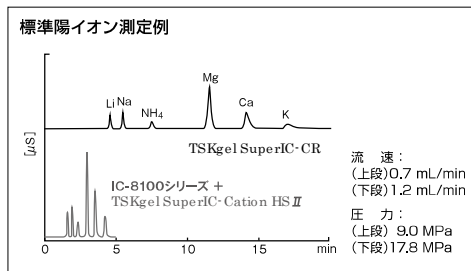
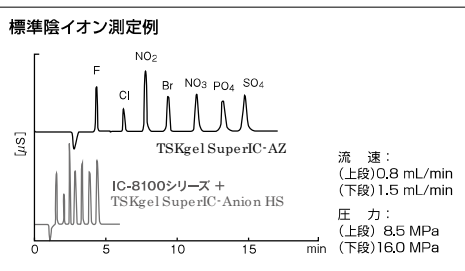
高速多検体

測定時間5分のハイスループット分析を実現

高速分離カラムとの組み合わせで、陰イオン・陽イオンの測定がそれぞれ5分で終了。測定時間を大幅に短縮できます。

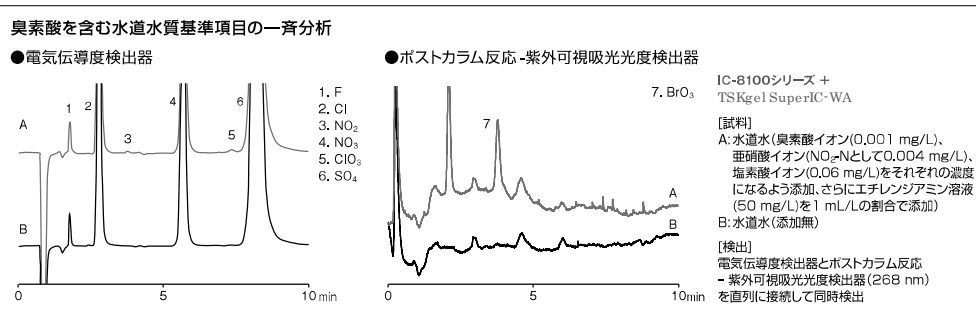
陰イオン測定時間16分から 5分へ短縮(当社比)

陽イオン測定時間20分から 5分へ短縮(当社比)



測定時間10分で臭素酸を含む水道水質基準項目の分析を実現

水道水質分析用の高速高分離カラムと、高感度ポストカラム反応システムを用いる事で、臭素酸を含む水道水質基準項目が10分以内で測定できます。従来、複数の条件で行なわれていた分析を一度の測定で行うことが可能です。



※ "IC-8100" は日本における東ソー株式会社の登録ロゴです。



東ソー株式会社
バイオサイエンス事業部

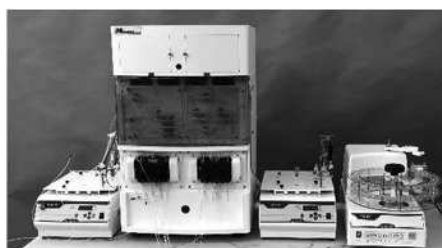
東京 本社 営業 部 ☎(03)5427-5180 〒105-8623 東京都港区芝3-8-2
大阪 支店 バイオサイエンスG ☎(06)6209-1948 〒541-0043 大阪府中央区高麗橋4-4-9
名古屋 支店 バイオサイエンスG ☎(052)211-5730 〒460-0008 名古屋市中区栄1-2-7
福岡 支店 ☎(092)781-0481 〒810-0001 福岡府中央区天神1-13-2
仙台 支店 ☎(022)266-2341 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-1
カスタマーサポートセンター ☎(0467)76-5384 〒252-1123 神奈川県綾瀬市早川2743-1
バイオサイエンス事業部ホームページ <https://www.separations.asia.tosohbioscience.com/>

ビーエルテックの自動化学分析装置

BLTEC 新型オートアナライザー 「MiSSion」

ふっ素 シアン フェノール類 全窒素 全りん

- 1 新開発の光学系により測定レンジが広がりました。
- 2 原理は、気泡分節型連続流れ分析法 (CFA)で計量証明機関で多くの実績があります。
- 3 ふっ素、シアン、フェノール類の蒸留、発色操作も自動で行えます。
- 4 全窒素全りんのオートクレーブ分解、発色操作も自動で行えます。
- 5 自動洗浄装置装着時、オートスタート機能、自動プラテンリリースできます。
- 6 国内生産です。
- 7 JISK0102、環境省告示対応メソッドです。 1時間20検体測定ができます。



MiSSion-ふっ素シアン



MiSSion-全窒素全りん

全自動酸化分解前処理装置 DEENAシリーズ

特長

1. 試薬を自動で導入できます。
2. 自動で加熱をします。
3. 内部標準も入れられます (オプション)
4. メスアップも自動で行います。



DEENA60
(50mlバイアル 60本掛け)

連続流れ分析法 (CFA法) を用いた、酸添加加熱分解装置AATM (アトム)

特長

1. 液体サンプルは、酸と混合、加熱しICP-MSへそのまま導入され測定されます。
2. 気泡分節のCFA法を利用した装置です。
3. 土壌汚染関連、排水、飲料水など全自動で測定できます。



ビーエルテック株式会社 <http://www.bl-tec.co.jp>

本 社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-25-7 江戸堀ヤタニビル2F
TEL : 06-6445-2332 FAX : 06-6445-2437

東京本社 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14-15 マツモビル4F
TEL:03-5847-0252 FAX : 03-5847-0255

九州支店 〒811-3311 福津市宮司浜1-16-10-101
TEL:0940-52-7770 ※FAXは本社へ

測定精度の向上
人的エラーの解消
前処理時間の短縮
自動化、省力化・・・

全て解決！

メトローム イオンクロマトグラフ



930 IC 本体

+



858 サンプルプロセッサ
+ 800 ドジーノ (電動ビュレット)

+



ろ過デバイス
限外ろ過



透析デバイス
ダイアリシス



中和・除去デバイス
中和 / 金属除去



濃縮・除去デバイス
濃縮 / カラムスイッチング
/ マトリックス除去



940 IC 本体



942 拡張モジュール

メトローム 自動前処理システム Metrohm Inline Sample Preparation (MISP) は、手作業でおこなっていたイオンクロマトグラフのサンプル前処理を完全自動化できます。

MISP は、メトローム開発したイオン分析のための自動前処理手法です。マトリックスの除去、濃縮、希釈、pH 調整、中和等の作業と時間のかかる作業を完全自動化します。前処理工程を改善するとともに、分析精度の向上にも有効です。

イオンクロマトグラフィの原理からトラブルまでご隠居さん達が楽しく解説する大人気コラム「ご隠居達のIC四方山話(よもやまばなし)」。ウェブサイトに掲載中！

IC 四方山話



 **Metrohm**

デモやサンプルテストもお気軽にお問い合わせください。
e-mailでのお問い合わせ: metrohm.jp@metrohm.jp

本社 〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 東京流通センター アネックス9階 TEL: 03-4571-1744 (IC部) FAX: 03-3766-2080
大阪支店 〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町3-1-9 淡路町ダイビル5階502C TEL: 050-5050-9600 FAX: 06-6232-2312
URL <https://www.metrohm.jp>